



士別ロータリークラブ会報

創立 1960・3・24 RI第2500地区

Vol. 33 No. 2299

2009-2010年度国際ロータリーのテーマ
2009-2010年度RI会長 ジョン・ケニー

例会場 / 士別グランドホテル
例会日 / 毎週月曜日 12:10 ~ 13:10
事務所 / 士別グランドホテル TEL 0165-23-1234
会長 / 大野 裕一郎
幹事 / 志村 孝幸



旧商工会館
百瀬達夫画

2009-2010年度士別ロータリーのテーマ
ロータリーを楽しく・学び・奉仕しよう

第2380回例会 2010年4月19日(月)

今日のプログラム ・普通例会

前回(4月12日)の記録 ・普通例会・会員卓話

司 会 伊藤優市会場監督
齊 唱 我等の生業
本日の出席 出席率 83.6% 会員 55人中 出席者 46人
本日の欠席 井上建雄・菊地博・中川涼一・野英俊・深尾幸夫・三野博司・吉川紀雄・宮田喜久三郎
鍋島秀

メークアップ
ビクター
ゲスト
ニコニコBOX

累計 285,400円

例会予定

4月例会日

[ロータリー雑誌月間]

5月例会日

4月 5日(月) 普通例会・理事会
4月12日(月) 普通例会・会員卓話
4月17-18日(土日) PETS・地区協議会(帯広)
4月19日(月) 普通例会
4月26日(月) 夜間例会・役員会

5月 3日(月) 休会(憲法記念日)
5月10日(月) 普通例会・理事会
5月17日(月) 普通例会
5月24日(月) 普通例会
5月31日(月) 夜間例会・役員会

会務報告・・・・・・・・・・大野裕一郎会長

先週10日、名寄のホテル藤花におきまして故大塚勝人君の次男である勇飛君と由香利さんの結婚祝賀会が、満場の祝福の中盛大に行われました。大塚勝人君が他界してから、この6月でまもなく一周忌を迎えようとしています。当時、大きな悲しみの中にあつた勇飛君もすっかり立ち直り、自衛官として精悍な顔立ちで、たくましく成長していました。新婦由香利さんのお手紙朗読のとき、勝人君に触れた場面では、想わず同級生や会員のメンバーは、元気があつた頃を思い浮かべ、胸がつまり涙が止まりませんでした。今後は、しっかりと幸福な家庭を築き国防の一役を立派に担って頂きたいと思います。

先般、士別市体育協会の第5代目会長に神田英一会員が就任されました。この協会は、25の加盟団体、会員数4,000名規模の大きな組織のようです。過去、今井忠則氏、岡田晃氏と歴任されてきた、歴史ある協会でもあります。今日、公益法人改革のなか、一般財団法人として新たなスタートをきる時代になりまさに、神田会長の力量が発揮される時でも有ります。ロータリーにおいても、次期会長として、また6月に挙行されます50周年記念式典の総務部会長として大変多忙な日々が続きますが健康に留意して頂きたいと思います。メンバーの皆様も御協力を何卒宜しくお願い致します。

幹事報告・・・・・・・・・・志村孝幸幹事

1. ロータリー財団よりチリ復興基金お願いがきております。当クラブとしても財団に賛同し本日より5月第1例会まで1口100円の募金を行いたいと思います。会計前に募金箱を設置しておりますので、お一人100円以上の募金のご協力をお願いいたします。

2. IM出席の会員は登録料5,000円を会計までお支払い頂きますよう、お願いいたします。

3. 4月9日(金)に士別交通安全運動推進委員会主催の「人の波・旗の波」に出席頂きました、会員の皆様、寒い中、大変ありがとうございました。

4. 第5回クラブ協議会(新旧クラブ協議会)を4月23日(金)に開催いたします。本日、出席義務者へご案内を出させて頂きましたので、ご出席をお願いいたします。また、欠席される委員長は代理出席者をお願いいたします。

5. 新入会員の件でございますが、先週の理事会において、日本生命士別営業所所長の「松永光司」

氏の承認を頂きました。松永氏は昭和35年生まれの49歳で、元津南ロータリークラブの会員でもあります。何もなければ来週の例会より出席となり、前任者小竹氏の入れ代わりでありますので、出席委員会に成る予定でございますのでご報告いたします。

6. 5月例会並びに予定についてご案内いたします。

- 5月3日(月) 休会(法定休日:憲法記念日)
- 5月9日(日) INTER CITY MEETING(枝幸)
- 5月10日(月) 例会・理事会
- 5月17日(月) 例会
- 5月24日(月) 例会
- 5月31日(月) 夜間例会・役員会

7. 美深ロータリークラブより3月の会報・4月の例会案内が届いております。

資料台に置いておりますので、ご観覧下さい。

次年度幹事報告・・・・・・・・宮崎隆雄次年度幹事

1. 今週末の17日18日土日、にかけ、帯広にてPETS並びに地区協議会が開催されます。既にご登録頂いている次年度委員長様には、何かとお忙しい中大変恐縮では御座いますが、ご出席賜ります様お願い申し上げます。今回の移動方法は、メンバーより車5台を用意させて頂いております。内、3台は17日土曜日に出発し、翌18日日曜日は2台での出発となります。詳細は、用紙にて配付させて頂きました。当日は朝5時出発となっておりますので時間厳守にて、また安全第一にて到着されます様お願い致します。

社会奉仕委員会・・・・・・・・北村浩史委員長

士別市交通安全運動推進委員会主催の「交通事故死ゼロを目指す日」の街頭啓発が9日大通5丁目・6丁目で行われました。

あいにくこの日は春の陽射しから遠のいた肌寒い風が吹く天気でしたが、当会から5人が参加し、交通安全を呼びかける旗を掲げ、道行くドライバーに交通安全を呼びかけました。ご協力ありがとうございました。

プログラム委員会・・・・・・・・佐藤元信委員長

今月は「ロータリー雑誌月間」ですので、雑誌・広報委員長の谷温恵委員長に卓話をお願い致します。

会員卓話・・・谷温恵雑誌広報委員長

早いもので4月も半ばを迎えようとしております。新年度はどの職場におかれましても、これまでを振り返りながら、次への希望に満ち溢れる毎日をお過ごしのことと存じます。私事になりますが、大切なお子様方を託されている者として、昨年は1年を通じて、行事ごとに天気への心配をすることが多く、また、猛威をふるった新型インフルエンザに恐怖を抱きながらの、気苦労の多い年であったように思います。しかしながら、3月にはグンと成長した卒園児を無事に送り出し、先日の10日土曜日には、入園式を迎え、新しい出会いに喜びと期待で、子ども同様にワクワクドキドキしているところです。

さて、そんな中、今月は、雑誌月間ということで、宮田会員、竹内会員、奈良会員と共に構成しております雑誌広報委員会より、ロータリー雑誌について、皆様にも少しもお伝えすることができればと願い、貴重なお時間をいただきましたので、どうぞ、よろしくお願い致します。

皆様十分にご存知であるかと思いますが、ロータリアンであれば、ロータリー雑誌の購読という規則義務があります。これは、私たちが幅広い奉仕をする為に、自分の所属クラブや所属地区、国だけではなく、世界中のクラブの活動やロータリアンのことを知らなければならぬとされ、実際に見て歩くことがいいわけですが、そうは簡単にいきませんので、ここで雑誌を活用し、情報を手しながら、それを実際の活動に生かすことが目的とされています。

今月号の『ロータリーの友』1ページに掲載されています、RI会長ジョン・ケニー氏のメッセージにはさらに次のことが書かれています。ロータリー雑誌は、私たちに他のクラブや地区のニュースを知らせ、私達のプロジェクトに新しいアイデアを提供すると共に、同僚ロータリアンたちとの間により強い絆を感じさせる役割を果たしているとのことです。今月は雑誌を通して、ロータリアンであることの、大切な恩恵をそれぞれのクラブの奉仕活動にどう生かすのかを考え、役立つ情報を他の人たちと共有するのにふさわしい時であると問いかけていることを覚えてほしいものです。

昨年も福澤委員長がお話されましたが、復習の意味を込めて、ロータリー雑誌の歩みについても触れたく存じます。ロータリー雑誌のはじまりは、『THE ROTARIAN』であり、1911年1月創刊、今から99年前に遡ることになります。私たちが購読しております「ロータリーの友」

につきましては、1953年の1月創刊であり、前の年の7月に日本の地区が2つに分割されたのをきっかけに誕生とのことです。機会があればこのことについても深く調べてみたいと興味を持っています。

ロータリーの友のような地域雑誌は31誌あるそうで、今月号の6、7ページに紹介されていますので、是非ご覧いただきたいです。どの雑誌もパッと目を引きカラフルな印象をうけるのではないかと思います。

さて、これもまた復習になりますが、ロータリーの友は左から開くと縦書き、右から開くと横書きです。創刊当初はすべて横書きであったそうです。しかし、俳壇や歌壇といった横書きでは都合の悪いページもでてきたそうで、だんだんと混ざりようになり、現在のように縦書き横書きがはっきりと分かれたのは、偶然にも私が生まれた1972年の年ということで、このことは忘れないで覚えていられそうです。内容には原則、横書きはロータリーの公式活動、縦書きには会員からの投稿が中心となっております。皆さんはいつもどちらのページからお読みでしょうか？ちなみに私は、まず、投稿の縦書きから読んでいます。と、いいすのも、「知っているクラブや会員はのっていないかな？」と楽しみにしているからです。先日もある研修会で鹿児島県のロータリアンの園長と親交を深めることができ、皆様には及びませんが、私なりにロータリアンとして広がってきたように感じています。その時にはもちろん、雑誌のことにも少々触れたりしまして、この雑誌の意味もこれまでよりも身近になったように思いました。是非、皆様におかれましても、雑誌から広がる様々な事象をお楽しみいただければ幸いです。

復習はここまでにして、次は、大野会長と雑誌広報委員会の選ぶ、『ロータリーの友』、心に響いた表紙のコーナーです！！

7月から4月までの表紙の中から印象に残ったものを前回の例会でお尋ねしました。それを私が少しだけ調べてみましたので、紹介致します。

まず、大野会長は7月号のジョン・ケニー夫妻の表紙ということでした。メッセージにつきましても「とてもいいことが書かれているよ」と教えて下さいまし



たし、この号には、ロータリーの友、改革の年という内容もありましたので、会員の皆様も是非、ロータリー年度のまとめの時期である今、読み返していただくとよいかと存じます。ロータリー雑誌の7月号は必ず、RI会長の写真を載せると決まっているとのですが、RI会長の写真であれば何でもよいということではなく、RI本部から送られてくる同じ写真を使わなければならないそうです。但し、デザインは自由とのことなので、これもまた今月号10、11ページにそれぞれの表紙が載っておりますので、ご覧下さい。デザインひとつで随分と雰囲気が変わっていてもいいです。

次に宮田会員が選ぶ表紙は8月号の浴衣を着て、華やかな様子が写っている愛知県安城七夕祭りの



表紙です。日本三大七夕と言われ、竹飾りはざっと千本と驚く数。まずは市民が一番に盛り上がるスタイルで、いつの間にか期間中に100万人を超す観光客で賑わうようになっているそうです。北海道は七夕まつりへの関心が薄いように感じますが、皆様はいかがでしょうか。

さて、竹内会員も同じくお祭りの表紙を選びました。超高層ビルを背景に躍動感あふれる踊りを披露する姿は、「いったいどの何のお祭りかしら？」と首をかしげますが、これは大阪府との



ことです。維新変革期に世直しを求めて発生した「ええじゃないか」のパワーにあやかり、踊りのパワーで「元気になろう」「笑顔になろう」「不景気をぶっとばそう」という地域活性化をめざす催しになっているようで、さすが、大阪、5、60代のおばちゃんを中心に力強さも感じる元気なお祭りです。

続いて、奈良会員は「今月号がセンセーショナルだね！」と話されました。これは、カンボジアのプノンベン郊外にあるお寺の行事で、瞑想する坐像の僧侶に信者たちが蓮の花と水がかけられるというカンボジア正月の水掛け儀礼の写真です。正月最後の日は、仏教徒は仏や尊敬すべき人々の

体を香水などで清めることで功德を積むことができると言われていて、今もその風習が水の掛け合



いになっているとのことです。宗教が厳禁され、寺院が破壊されたり、強制労働、虐殺や餓死などの時代背景を経て、カンボジアの人は今、この平和をいつまでも祈らずにはいられないと紹介してありました。余談になりますが、私は英語にうとく、奈良会員がはじめ

にお話していたセンセーショナルということばの意味が気になり、家に帰って辞書をひき確認しました。なんとなくニュアンスはわかるのですが、自信がなかったので調べましたけれども、意味は「世間をあっといわせる」ということばでした。あらためて知らない言葉が多くあると感じ、学びの時をいただいたところです。

そして、そんな私は1月号の愛媛県いわね神社の初笑いの様子を選びました。はじめにお話しま



したが、何かと気苦労の多かった昨年度、この表紙を見たときに思わず吹き出しました。「わっはっは！」と今にも聞こえてきそうな豊かな笑いは私の暗くなりかけていた心の救いになりました。

皆さんにもきっと、印象深い号があったかと思えます。

是非、また、そのようなお話を今後の例会の中でお聞かせいただければ、より、この委員会の目的も達成できることと思いますので、お願い申し上げます。雑誌月間のプログラムとさせていただきます。

最後になりますが、皆様が熱心にご講読下さっていることを感謝致しますと共に、雑誌を月のはじめに皆様のテーブルに置かせていただいておりますけれども、雑誌委員会以外の会員の方の中にも、率先してお手伝いを下さる方がいらっしゃいまして、この場をお借りしてありがとうございますとお伝えしたいと思えます。それでは、つたない内容ではありましたが、皆様、最後までお聞き下さいまして、本当にありがとうございました。